

市長とランチミーティング ④2

タクシー業界を取り巻く環境と現状について

第42回「市長とランチミーティング」は1月30日(木)に「沖縄県ハイヤー・タクシー協会八重山支部」の皆さんと行われました。

中山市長 市長とランチミーティングに参加いただきありがとうございます。昨年新空港が開港して入域観光客数が大幅に伸びている中でハイヤー・タクシー協会の皆様には八重山観光にとつて重要な役割を果たしていただき感謝しております。今回は新空港開港前のランチミーティングから2回目の参加ということで、空港開港後の今のタクシー業界の現状や課題など聞かせていただければと思います。今回頂いた意見を参考にしたいと思っています。



ランチミーティング

企画政策課長 沖縄県ハイヤー・タクシー協会八重山支部の皆様は平成24年9月以来2回目のランチミーティングとなります。よろしくお願ひします。

請盛副支部長 現在、沖縄県ハイヤー・タクシー協会八重山支部は離島を含め15社で構成されており、市民生活や観光に欠かせない公共交通機関として公共性と社会的使命を重んじて日々、安全運転・安全運行に努めています。昨年、新空港が開港して過去最高の入域観光客数を記録している中で、今後もこの状況を維持していくために我々協会も行政と協力して石垣市の為に頑張りたいと考えております。まずはじめに、今タクシー業界で問題になっているのが燃料価格の高騰というのがあります。どんな燃料価格の高騰が続いており各事業所が経営努力をしながら現状をしのいでいる状況です。この状況が今後も続くときさすがに経営努力だけでは厳しい状態に陥ってしまうので、その現状を行政側にも知って頂きたい

と思っています。また4月からは消費税も上がりますので、燃料の高騰ともあわせてタクシー料金の改定もチャンスがあればやらざるをえない現状にあります。更に2年後の2016年5月31日をもって、現在のアナログのタクシー無線をデジタル無線に完全移行しなければならず、タクシー1台、1台の無線機の入替えも事業者負担となつてきます。そういった負担を軽減するため何かアイデアがあれば行政側にもぜひ知恵を貸して頂きたいと思っています。台風など災害時でもタクシーは24時間運行しているの、無線を活用した様々な災害情報を行政と共有していくことも今後検討していければと考えていますのでよろしくお願ひいたします。

中山市長 新空港開港してからタクシー業界全体の売上というのはどう変化していますか？

請盛副支部長 昨年3月の開港から9月まではものすごく利用者も増え、売り上げも伸びたと思います。しかし、冬場に個人

客よりも団体客が増えてくるとタクシー利用率は落ちてしまう傾向にありますね。無線のデジタル化への移行については総合事務局などにも助成してもらえないかと相談をしているのですがなかなか返事をもらえていない状況です。

企画部長 無線については当然、全島を網羅するための基地局をどうするのかなどハード面をどうクリアしていくかを総務省の電波管理をする部署としっかりと調整して勉強会を開くなどして一緒に進めて今後の対応を協議していきたいと思います。



請盛副支部長 アナログとデジタルの違いなども含めて、色々と勉強する必要があると思っています。また改めてデジタル化に移行するためのコストをどう抑えていくのかも合わせて行政のみなさんと検討していければと思います。

中山市長 無線デジタル化については行政側も色々と調査をし、一緒に検討していきたいと思います。

請盛副支部長 前回のランチミーティングで高齢者の外出支援について提案をさせていただきました。体が不自由な方や高齢者の方が一人でも多く気軽に外出を楽しむような社会を実現する為に我々タクシー業界をうまく利用して頂けないかと提案させて頂きましたがその後、行政側で何か検討して頂けましたでしょうか。

福祉部長 現在、石垣市には65歳以上の方が8500人います。この中から支援を对象とする条件などを担当課と検討しましたが、なかなか結論に至りませんでした。しかし、タクシーもバスと同じ公共交通機関ですので、タクシーでもどうか介護支援していけないか様々な角度から検証しています。例えば現在、社

会福祉協議会に委託している外出支援サービス事業の業務をタクシーに担ってもらうなど、あくまで案ですがそういう形もあるのではないかと考えています。ただ、それを実際に展開するとなると通常の形態の車両ではなく車いすに対応した福祉車両を会社で保有する事が必要になってきます。

企画部長 その場合、介護保険タクシーの基準に適合する設備を持ち、介護保険登録できるようなにもつてく対応が必要ですね。保険対応でなくても宮古島市や他の自治体では行政の単独予算で65歳以上の一人暮らしで乗用車を所有していない方や運転免許を返納した方など、いわゆる交通弱者の方々に絞ることで対象とする外出支援策などがありますので参考にしていききたいと思います。

請盛副支部長 次に、自然災害等が発生した時に我々タクシー協会と行政とで連携して情報共有などを行っていく体制作りができないかと考えていますが、行政側に我々が協力できる事などあればお聞かせください。

会員 我々は台風や大雨の時

も24時間車両を運行していますので、自然災害が発生した際にタクシー乗務員がいち早く発見した災害情報を市役所の防災担当部署へ連絡するという態勢を整えて日々のタクシー運行业務にあたれば災害被害を大きくせずに済むと考えます。

総務部長 現在、石垣市役所では総務部の防災危機管理室がありますので、そこに第一報を入れていただければ関連する各部署ですぐに対応できるような態勢を整えております。台風時には警報が出れば24時間体制の台風災害対策本部が立ち上がりますので、そことの連携を図っていければいいと思います。今後、災害・防災情報や不審者情報などの情報提供についてタクシー協会との協定など検討していきたいと思います。

請盛副支部長 最後に台湾クルーズ船入港時の対応についてですが、通訳の確保が今課題として挙がっています。現在、1名の通訳でクルーズ船入港時に対応してもらっていますが、一人であれだけの人数を対応するには時間が掛かり過ぎてしまい、夏場の炎天下の中でお客さんを長時間待機させる形になってしまってい

企画部長 クルーズ船入港時の通訳の確保について現在、観光文化課で調整しておりますがクルーズ船専用の通訳を配置するのではなく、石垣市全体として港や様々な公共施設に配置できる通訳を確保して、必要に応じてクルーズ船入港時にその通訳を台湾クルーズ船の通訳として配置するという事ができないか検討している所です。それが実現できるように様々な可能性の検討を進めていきたいと思います。

中山市長 今回は貴重なご意見とタクシー業界の現状を聞くことができ、有意義なランチミーティングができました。タクシー業界の皆さんは石垣市の観光を支える重要な役割を果たして頂いていると思っていますので、今後様々な面で連携していける態勢を整えていきたいと思います。ありがとうございました。

